資料4

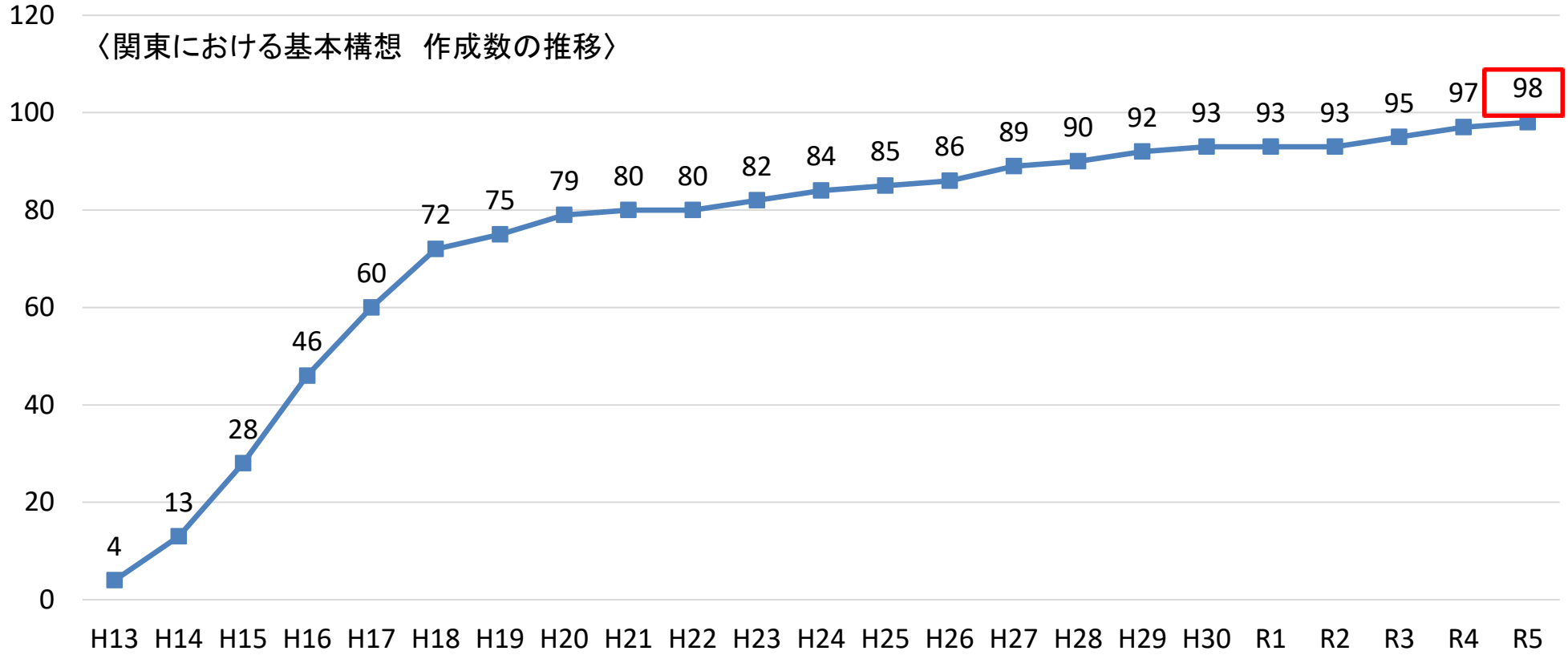
関東における
基本構想・マスタープランの作成状況

国土交通省

関東における基本構想の作成状況 （令和5年度末時点）

国土交通省

- 関東における基本構想は、98市区町において作成されており、作成率は28．6%となっている。
- 人口規模が比較的大きい「市・区」で見ると、作成率は約4割となっており、そのうち政令市・中核市・特別区は7割以上となっている。



	全国	関東
作成数	325 ／ 1741	98 ／ 343
作成率	18.7%	28.6%

市・区	政令市	中核市	その他の市	特別区	町	村
43.0%	100.0%	75.0%	33.0%	91.3%	5.0%	0.0%
93 ／ 216	5 ／ 5	9 ／ 12	58 ／ 176	21 ／ 23	5 ／ 100	0 ／ 27

都県別　基本構想の作成状況（令和5年度末時点）

国土交通省

- 都県別に見ると、神奈川県（51．5%）、東京都（50．0%）が比較的高い作成率となっている。

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	関東合計	全国合計
作成数	8	9	3	11	15	31	17	4	98	325
作成率	18.2%	36.0%	8.6%	17.5%	27.8%	50.0%	51.5%	14.8%	28.6%	18.7%
	8 / 44	9 / 25	3 / 35	11 / 63	15 / 54	31 / 62	17 / 33	4 / 27	98/343	325/1741
うち市・区の作成率	25.0%	57.1%	25%	22.5%	40.5%	63.3%	78.9%	30.8%	43.0%	36.4%
	8 / 32	8 / 14	3 / 12	9 / 40	15 / 37	31 / 49	15 / 19	4 / 13	93/216	297/815

※赤塗り箇所：全国平均以上
※青塗り箇所：全国平均以下

関東におけるマスタープランの作成状況 （令和5年度末時点）

国土交通省

- バリアフリー法の改正において、マスタープラン制度が創設（平成30年11月施行）。
- マスタープランは移動等円滑化促進地区において、面的・一体的なバリアフリー化の方針を示すもの。
- 関東におけるマスタープランは、14件作成されている。
- 全国では44件作成されている。

	大田区	春日部市	戸田市	千葉市	新宿区	目黒区	武蔵野市	日野市	調布市	杉並区
作成	令和2年3月	令和3年3月	令和3年3月	令和3年3月	令和3年11月	令和4年3月	令和4年3月	令和4年3月	令和4年4月	令和5年3月
名称	大田区 移動等円滑化促進方針 （おおた街なか“すいすい”方針）	春日部市 中心市街地バリアフリー計画	戸田市 移動等円滑化促進方針	千葉市 バリアフリーマスタープラン	新宿区 移動等円滑化促進方針	目黒区 移動等円滑化促進方針 及びバリアフリー基本構想	武蔵野市 バリアフリー基本構想2022 ※マスタープランを兼ねる	第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画	調布市 バリアフリーマスタープラン	杉並区 バリアフリー基本構想 ※マスタープランを兼ねる

	江戸川区	世田谷区	つくば市	本庄市						
作成	令和5年3月	令和5年6月	令和6年3月	令和6年3月						
名称	江戸川区 ユニバーサルデザインマスタープラン	世田谷区 移動等円滑化促進方針	つくば市 バリアフリーマスタープラン	本庄市 移動等円滑化促進方針	（以下余白）					